

地域に根差した実践型自然エネルギー学校 (小水力発電) 運営支援

活動地域 岐阜県、他

ひろげる助成

4年目

実践

自然エネルギー学校の
成果の確認

7地域

6年間の成果を
活用する報告書作成

500冊

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

90%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、講座の開催や対面でのヒアリングが困難であった。

■工夫した点

地域の事情を最優先に、可能な限りオンラインでの打ち合わせや講座の開催に努めた。



活動の成果や地域の変化のヒアリング

課題

豊富な資源がある中山間地において、地域資源の活用である小水力発電の開発には実践経験を踏まえた人材の育成が課題である。

目標

実践型自然エネルギー学校(小水力発電)の普及モデルの活用により、多くの地域で小水力発電導入の実践経験のある人材が育ち、小水力発電に取り組む主体地域が増加する。

活動内容と成果

実践型自然エネルギー学校が開催され地域の担い手が育成されるために以下の活動を行った。

- 自然エネルギー学校開催地において、開催後の成果や地域の変化等を把握するためのヒアリングの実施(7地域)
 - 6年間の成果を活用できるための報告書(資料)作成会議の開催(2回)
 - 報告書の作成(500冊)と報告会の開催(1回)
- 担い手の育成の体制が6地域で構築され小水力発電事業の事業化の取組が4地域で始まった。



活動の成果をいかす

全助成期間の活動を振り返って

活動のポリシーとして「地域の事情を優先し、地域に寄り添い地域の皆さんが主体かつ自立的に進める」ことを大切にしてきた。その結果、多くの地域の皆さんや行政機関等との信頼関係が構築できたのではと考えている。

この活動を通して、「実践型自然エネルギー学校(小水力発電)」の手法が、小水力発電の普及拡大に繋がるためには、プログラムの構築やその運営などを地域の実情に合わせ柔軟に対応することが大切だと学んだ。



成果をまとめた冊子

〒509-7123
岐阜県恵那市三郷町野井133-32
E-mail: info@chiikisaisei.org
HP: http://chiikisaisei.org



今後の
展望

活動の目標は、全国の多くの地域で小水力発電導入の実践経験のある人材が育ち、小水力発電に取り組む主体地域が増加することである。これは、地域の担い手となることはもちろんではあるが、それを開催する地域の団体や人材が地域でのコーディネーターとなり、その牽引役となっていたくことにも大きな意義がある。地域再生機構として、それらを加速させる役割を担っているものと考え、地域の団体、行政機関と連携していきたい。